

2022年9月30日

県内景況

株式会社 鹿児島銀行
株式会社 九州経済研究所

最近の県内景況は、消費関連、観光関連が緩やかに持ち直し、生産活動が一部で持ち直し、雇用情勢が横ばいとなっている。一方、畜産関連は弱含み、投資関連はやや弱含んでいる。海外情勢や急激な円安などの影響で先行き不透明感はあるものの、足元ではコロナ第7波がピークアウトし、社会経済活動の再開の動きも本格化しつつあり、全体として回復傾向が続いている。

生産活動は、6月の鉱工業生産指数が3か月連続で前年を上回った。食料品、窯業・土石製品、電子部品・デバイスのいずれも前年を上回った。

畜産関連では、8月の肉用牛（和牛）枝肉価格は、去勢A4は前年を下回り、去勢A3は前年を上回った。また豚肉、ブロイラーもも肉、むね肉相場は前年を上回った一方、鶏卵相場は前年を下回った。

個人消費関連は、7月の百貨店・スーパー販売額、専門量販店販売額共に前年を上回ったものの、8月の乗用車新車登録台数、軽自動車届出台数共に前年を下回った。

観光関連では、8月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、9か月連続で前年を上回り、主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

投資関連では、公共工事請負金額、民間建築工事費予定額、新設住宅着工戸数のいずれも前年を下回った。

雇用情勢は、7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.38倍となった。

【生産活動】... 一部で持ち直し

電子部品関連は、半導体需要が高まり、スマホや5G関連が好調に推移しているものの、一部で在庫調整の動きがみられる。また、海外情勢の影響で、先行きに不透明感がある。

7月の焼酎生産は7か月ぶりに前年を下回り、出荷量は3か月ぶりに前年を下回った。

6月のかつお節生産は、10か月ぶりに前年を上回った。

8月の生コン生産（出荷量）は、公共工事向けが7か月連続で前年を下回り、民間工事向けは2か月ぶりに前年を上回り、全体では6.4%増と3か月ぶりに前年を上回った。

8月の紙パルプ生産は、3か月連続で前年を下回った。

木材関係は、製品相場がスギは前年を上回り、ヒノキは前年を下回った。

【畜産関連】... 弱含み

8月の子牛の出荷頭数は前年を上回り、価格は前年を下回った。8月の肉用牛（和牛）の枝肉価格は去勢A4は2か月ぶりに前年を下回り、去勢A3は3か月連続で前年を上回った。7月の枝肉生産量は前年を下回った。

8月の豚肉相場は4か月連続で前年を上回った。7月の枝肉生産量は前年を下回った。

8月のブロイラー相場は、もも肉は2か月連続で前年を上回り、むね肉は31か月連続で前年を上回った。8月の処理羽数は前年を上回った。

8月の鶏卵相場は前年を下回った。7月の配合飼料価格は前年を上回った。

【消費関連】... 緩やかに持ち直し

7月の百貨店・スーパー販売は衣料品がほぼ前年並み、飲食料品が前年を上回り、全体では10か月連続で前年を上回った。

7月の専門量販店販売額は、家電大型専門店、ドラッグストア、コンビニエンスストアのいずれも前年を上回った。

8月の乗用車新車登録台数は、半導体不足や部品供給減少などの影響により、12か月連続で前年を下回った。車種別にみると、普通車は7.1%減、小型車が22.3%減となった。

8月の軽自動車届出台数は15か月連続で前年を下回った。

【観光関連】... 緩やかに持ち直し

8月の主要ホテル・旅館宿泊客数(鹿児島・霧島・指宿地区)は、県民割・ブロック割効果などにより、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、9か月連続で前年を上回った。

鹿児島地区^注は、九州、関東、関西などからの入り込みや個人客、団体客が増加し、10か月連続で前年を上回った。

霧島地区は、九州、関東、関西からの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、10か月連続で前年を上回った。

指宿地区は、九州、関東、関西からの入り込みや個人客、団体客が共に増加し、8か月連続で前年を上回った。

種子島・屋久島地区は、8か月連続で前年を上回り、奄美地区^注は6か月連続で前年を上回った。

8月の主要観光施設入場者数は、ほとんどの調査対象施設で前年を上回った。

【投資関連】... やや弱含み

8月の公共工事は、件数、請負金額共に前年を下回った。

7月の民間建築工事着工は、棟数、床面積、工事費予定額共に前年を下回った。

7月の新設住宅着工戸数は、分譲は前年を上回ったものの、持家、貸家が前年を下回り、全体では3か月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数の合計の3か月移動平均は前年を下回り、6.7%減となった。

7月の主要建設資材卸売業者の売り上げは、3か月連続で前年を上回った。

【貿易関連】... 輸出額、輸入額共に前年を上回った

7月の輸出額は、ゴムタイヤ及びチューブ、食料品及び動物が前年を下回ったものの、再輸出品、パルプ及び古紙、木材が前年を上回り、全体では261.2%増と5か月連続で前年を上回った。輸入額は、原油及び粗油、穀物及び同調製品が前年を上回り、全体で116.3%増と16か月連続で前年を上回った。

^注 鹿児島・奄美地区は新型コロナウイルス療養施設を除く

【雇用情勢】... 横ばい

7月の有効求人倍率は前月を0.02ポイント上回る1.38倍となった。県内求人数を業種別にみると、建設業が前年を下回ったものの、製造業、卸売業・小売業、医療・福祉は前年を上回った。

【金融情勢】... 貸出金残高は前年を上回った

7月の県内金融機関の貸出金残高は前年を1.0%上回った。

【企業倒産】... 倒産件数は前年を上回った

8月の企業倒産（負債額1,000万円以上）は、件数が6件で前年同月（2件）を上回った。また負債総額は3億52百万円で前年同月（1億24百万円）を上回った。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 (株)九州経済研究所 (Tel 099-225-7491)